

小規模事業者

経済動向調査報告書

<那珂市>

2025年4月～6月期

那珂市商工会

1. 目的

那珂市内の小規模事業者の景気動向等を分析し、その詳細な実態を把握し、市内小規模事業者に開示することで、経営に活用していただく。

2. 方法

市内の製造業、建設業、小売業（卸売業を含む）及びサービス業の小規模事業者から14社をサンプルとして選出し、聞き取り調査を行う。

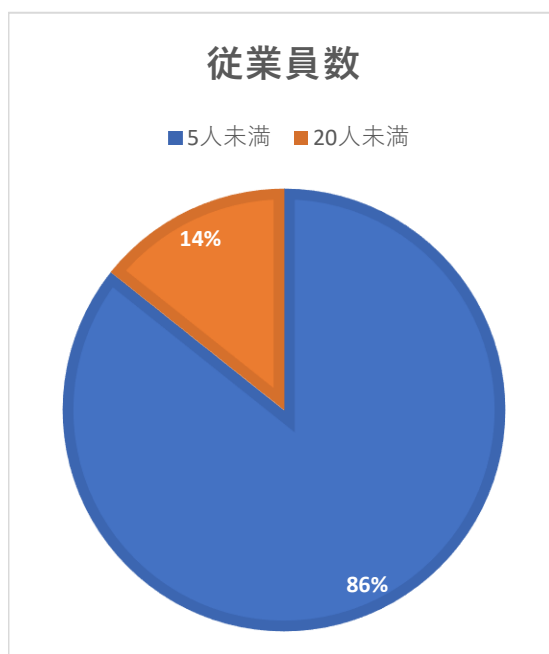
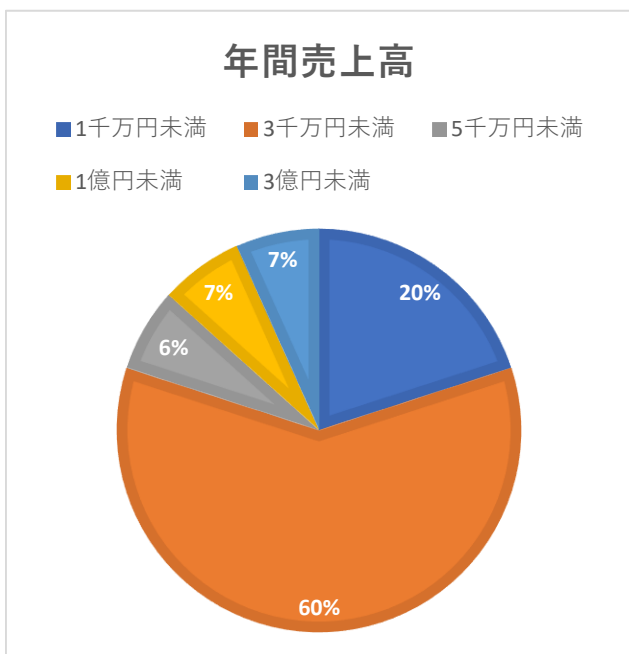
3. 調査事業者

① 製造業	3社
② 建設業	2社
③ 小売業（卸売業を含む）	3社
④ サービス業	6社

4. 調査項目

- ① 売上高、販売単価、経常利益、資金繰り、人材確保及び景況感を聴取し、業種別に比較。
- ② 近年の物価高の影響と対策について聴取し、業種別に比較するなど分析。
- ③ 国の補助金制度及び商工会の支援についての認知及び活用状況を調査。

5. 事業者の規模



I. DI 分析

表1：2025年4月～6月のDI

	合計	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上高	-13.3%	-33.3%	0.0%	-50.0%	16.7%
販売単価	-13.3%	-33.3%	0.0%	-50.0%	16.7%
経常利益	-13.3%	-33.3%	-50.0%	-50.0%	33.3%
資金繰り	-13.3%	0.0%	0.0%	-25.0%	-16.7%
人材確保	-20.0%	-33.3%	-50.0%	0.0%	-16.7%
景況感	-40.0%	-66.7%	-100.0%	-25.0%	-16.7%

- 前回（2025年1月～3月）と比較すると、全体的にほぼ変化が見られなかった。
- 若干、経常利益が改善しているが、これは製造業とサービス業において顕著に改善傾向にあることが背景にある。サービス業においては、前回の販売単価の改善が、ここに来て経常利益の改善に結びついたと評価できる。
- また、小売業も、前回に比べれば、全体的に改善傾向にある。
- 建設業においては、売上高の伸びも一旦落ち着いたようだ。

DI（業況判断指数）

景気局面の判断や、予測と景気転換点の判断に利用される景気動向指標のひとつ。業況下や景況感といった明確に数値化しにくい対象を、比較化することで景況を判定する。

「景気が良い」と感じている企業の割合から、「景気が悪い」と感じている企業の割合を引いたものをパーセンテージで表し、プラスは良好、マイナスは悪化として、その度合いで判定する。

II. 物価高騰の影響調査

図1 2025年4月～6月の仕入価格の高騰状況

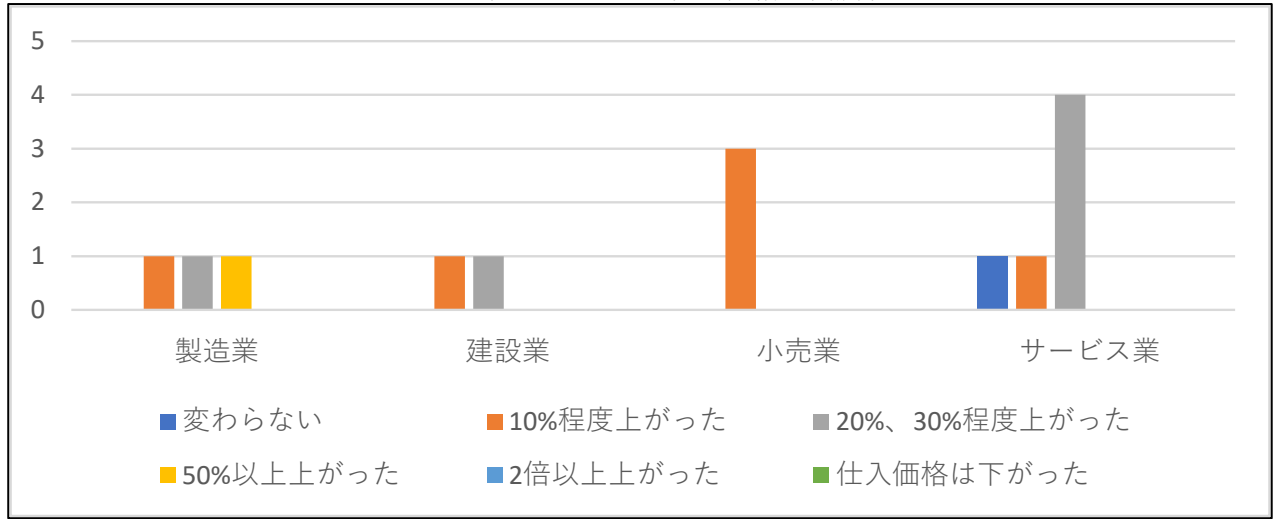


図2 2025年4月～6月の販売価格値上げ状況

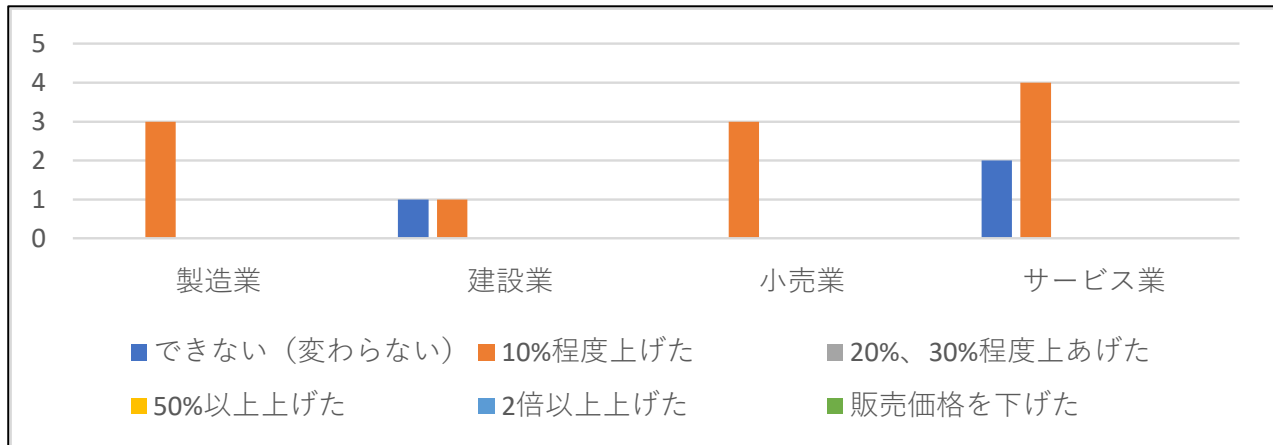
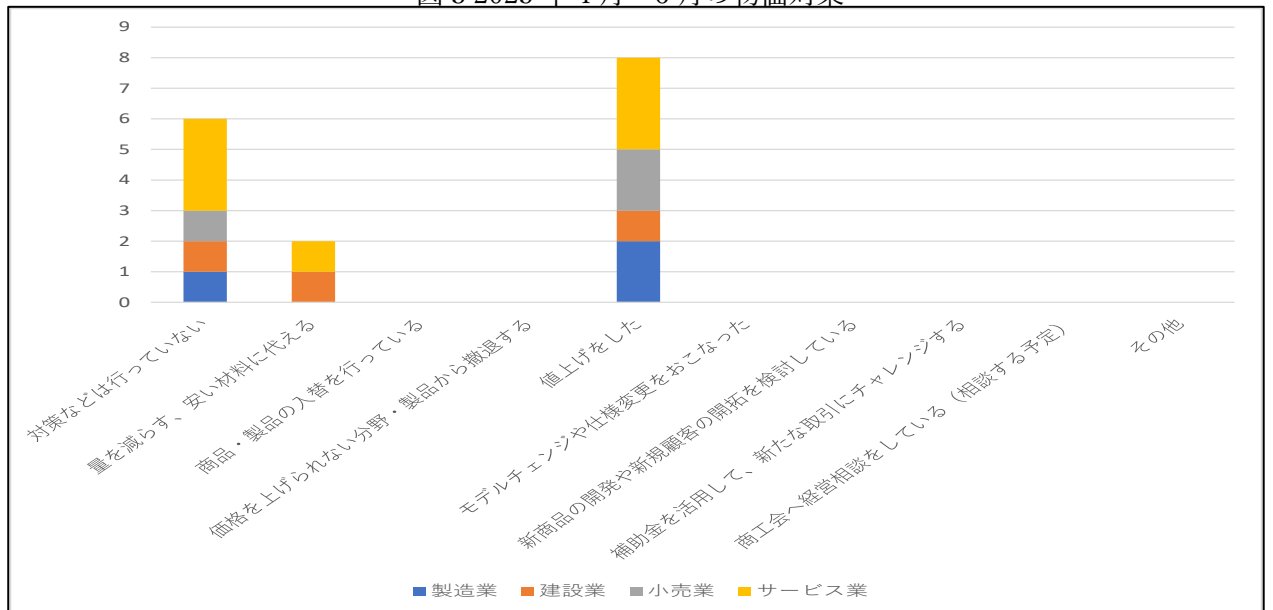


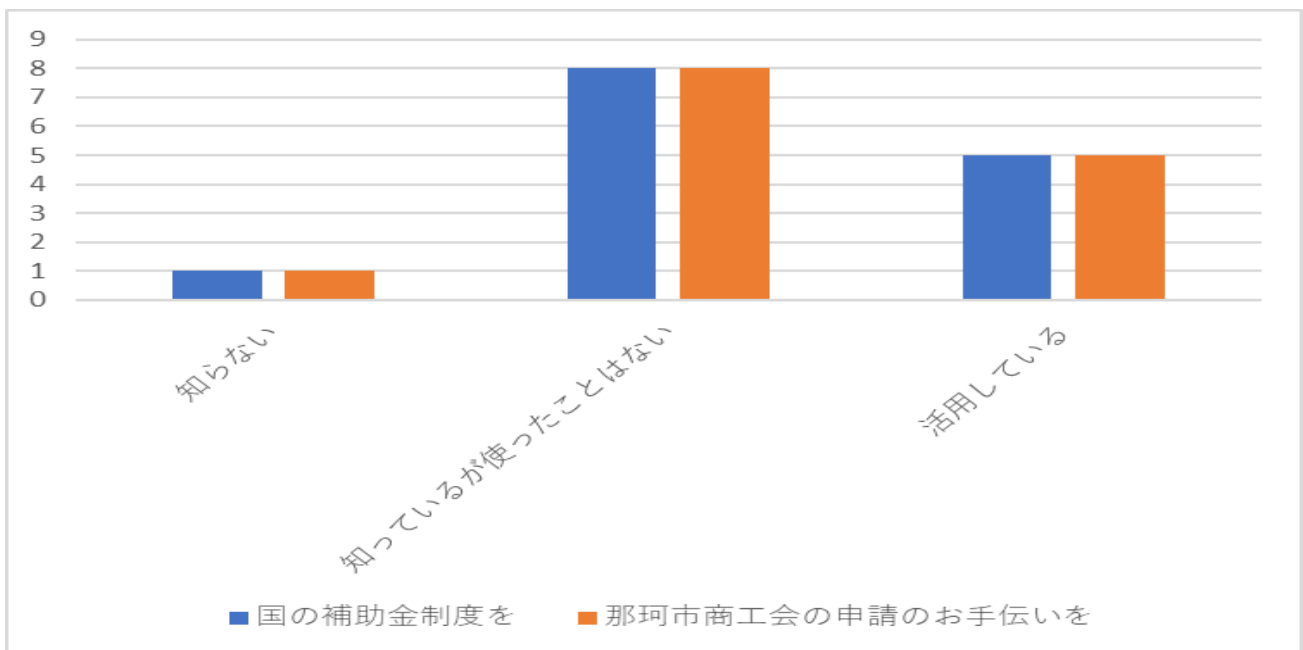
図3 2025年4月～6月の物価対策



- 仕入価格の高騰については、前回と状況は変わっていない。また、販売価格の値上げ状況も同様に変わっていない。
- 物価対策については、再び、未対策が増えており、特に業績が改善してきたサービス業で多く、対策の必要性がなくなってきている様子も窺える。もっとも、サービス業の仕入価格高騰が最も顕著であり、油断できる状況ではない。

Ⅲ. 国の補助金制度の活用

図4 国の補助金制度及び商工会支援についての活用状況



- 国の補助金制度や商工会によるその申請支援については、ほぼ周知されている様子が窺える。
- ただし、活用している企業はその約3分の1である。残り3分の2は存在を知っているが、活用には至っていないようだ。
- また、補助金を活用している企業数と商工会の支援を受けている企業数がほぼ同数であり、商工会の支援をうまく活用して補助金を獲得、活用している様子が窺える。

以上